

授業概要

本講座では、幼児体育Ⅰ～Ⅱで学んだ内容を基礎として、その応用技術について学習する。具体的には、野外教育の実際について学習し、子どもたちを対象とした野外教育プログラムの企画及び運営方法についても学んでいく。本講座の履修後、希望者については、いくつかの条件をクリアーするとキャンプインストラクターの資格取得が可能である。

授業計画

第1回	授業オリエンテーション 講義（キャンプインストラクター資格について／人間と自然の関係）
第2回	講義（キャンプの目的と意義／組織と種類） 演習（レク・ゲーム）
第3回	講義（人間の理解／自然の理解） 演習（キャンプソング）
第4回	講義（キャンプのルールとマナー／環境教育とキャンプ） 講義（キャンプにおける安全の考え方／安全管理の実際）
第5回	講義（キャンプインストラクターの役割） 講義（キャンプカウンセリング／キャンパーの観察と記録）
第6回	講義（キャンプの個人装備と団体装備） 演習（キャンプ設営法とロープワーク）
第7回	授業のまとめ
第8回	筆記試験と資格認定試験
第9回	講義（キャンプ実習について） 演習（キャンプの準備）
第10回	実習 基礎実技① キャンプの設営方法とロープワーク
第11回	実習 基礎実技② 野外料理の方法と安全管理
第12回	実習 基礎実技③ キャンプファイアーの準備と実際
第13回	実習 応用実技① キャンプカウンセリングとコミュニケーションスキル
第14回	実習 応用実技② 水辺野外活動の方法と安全管理
第15回	実習 指導実習
第16回	実習の振り返り

到達目標

野外教育の実際について学習し、子どもたちを対象とした野外教育プログラムの企画及び運営方法を理解する。資格取得希望者については、キャンプインストラクターの資格を取得する。

履修上の注意

- ・授業の特性上、履修人数を35名以内とする。希望者多数の場合は、資格取得希望者を優先する。
- ・実技では、学外において2泊3日の集中授業（実習）を実施する予定である。
実習に要する費用の実費については、各自負担となる。詳細は、1回目の授業で説明する。
- ・キャンプインストラクター資格を取得するためには、別途費用（登録費等）が必要となる。

予習・復習

予習：次時の内容についてテキストを読んでおく。
復習：本時の内容を確認し、考察を深めておく。

評価方法

- ・受講態度（40%）、実習ノート記録（20%）、授業内試験（40%）

テキスト

授業開始時に指示する。